



国際ロータリー第 2790 地区
ガバナー 宇佐見 透 様
財団委員長 山田 修平 様

ガバナー	幹事長	事務局

26.10.-1

ロータリー平和センターへの寄付支援のお願い

前略 秋冷の心地よい季節、皆様方にはご壮健にてお仕事にロータリー活動にご活躍のことと拝察致します。

ロータリー活動も新年度に入り、早くも上四半期が経過しようとしております。

私は 2010 年 7 月から 2015 年 6 月末迄 5 年にわたり R P C M G I (ロータリー平和センター大口寄付推進計画委員) 日本代表を拝命しております津田健三 (2001-02 年度第 2770 地区パストガバナー) と申します。

一昨年も昨年も平和センターへの目標額を決め、各地区の皆様にご寄付のお願いをして参りました。委員会の構成は、米国出身の委員長、副委員長及び世界の委員が 10 名、アドバイザー及び連絡担当管理委員の田中作次 元 R I 会長を含め、総勢 14 名の構成です。

私共の役目は、世界理解と親善、平和、紛争解決に向けて学び、研究する平和フェローシップの支援のための寄付増進にあります。日本の国際基督教大学(ICU)をはじめ世界の名門 6 大学に学ぶ年間 110 名の費用は全て世界中のロータリアンの寄付によって賄われております。

私共委員会の目標は 2015 年 6 月 30 日迄に 12,500 万ドルを集めることにあります。そして、元本は使用せず運用資金益のみにより平和フェローの学費支援に充てようという考えです。

去る 9 月 8 日~9 日と 2 日間にわたりエバンストン本部で開催されました委員会では、ロータリアン皆様のご支援の結果、2015 年 6 月末で 10,465 万ドルの寄付が集まりましたという報告がございました。有難うございました。

しかしながら、上記金額 42%の 4,395 万ドルが遺贈と生命保険金での寄付となっており、運用資金の元本に充てることが出来ず、100 名の平和フェローの学費支援が厳しい現状です。

私共の委員会最終年度となります今年度で目標達成までの残り 2,054 万ドルを集めるため、日本での寄付目標金額を改めて検討し、具体的方策を提示しなければなりません。

そこで計画し、お願いしたいのは以下のとおりです。誠に勝手に申し訳なく思いますが、私に課せられた役目でもあり、ロータリーの最終目標にかなった大事な仕事と認識しております。

世界平和のため、執念を燃やす卒業生を一人でも多く輩出し、争いのない平和な地球村の建設に向け、一緒に努力したいからです。

どうぞ、ご理解の上、下記のとおりご協力を切にお願いする次第です。

記

1. ロータリー平和センター恒久基金へ新規大口寄付（一括1万ドル以上）
1件以上
2. ロータリー平和センターの冠名基金設立は、2万5千ドルからです。
その金額に近い方に残りの寄付をお願いし、寄付者の名前の付くロータリー
平和センター冠名基金の設立へともって行って頂きたい。
3. 地区DDFのロータリー平和センター恒久基金への寄贈
(DDF寄贈による地区冠名基金の設立も可能です。)

地区毎目標 上記項目合計寄付額 50,000 ドル以上

※11月末に私から地区ガバナー事務所宛にお電話をさせていただきます。

また、ロータリー平和センター基金寄付目標達成のための電話会議が2014年12月1日、2015年2月24日、5月12日と3回予定されております。その度に寄付進捗状況を報告することになっておりますので、上記寄付状況について、2015年1月末までに進捗状況をご報告いただけますようお願い致します。そんな状況ですので、ご支援の程、よろしくお願ひ申し上げる次第です。

早々

平成26年9月吉日

R P C M G I 委員会連絡担当管理委員
元R I 会長 田中 作次

ロータリー平和センター大口寄付推進計画委員会委員
国際ロータリー第2770地区パストガバナー(2001-02)
津田 健三